



KMU 金沢医科大学氷見市民病院

| 広 | 報 | 誌 |

# かけはし

氷見

KAKEHASHI



患者さんと病院と  
地域をつなぐ広報誌

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY  
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL



TOPICS ● トピックス

## 新年のご挨拶

雪景色の立山連峰

CONTENTS ● もくじ

TOPICS 新年のご挨拶	P.01
特集 救急外来における感染対策	P.02
黒木先生の診察室から	P.03
診療コラム	P.04
病院★ニュース	P.06
病院からのお知らせ掲示板	P.06
まちかど情報	P.07

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として  
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。





# 新年のご挨拶



最高経営責任者 (CEO)

松本 忠美

**明** けましておめでとうござい  
ます。

今年の冬は、例年の寒さが戻り、北陸の冬らしい雪景色の正月を迎えることが出来ました。

さて、昨年は、世界中がコロナに始まり、コロナに終わるといいう新型コロナウイルス感染症の大流行の年でありました。

北陸地方も二度の感染流行の波に見舞われ、現在三度目の流行の波が来ようとしており、北陸三県のあちらこちらで多くのクラスターが発生しました。

氷見市においては、濃厚接触により感染経路が判明した患者が4名、通常の疑い患者が3名発生しております。

当院では、昨年2月より感染拡大に備えて発熱外来を開設し、また、

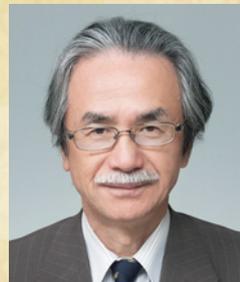
コロナ感染者専用の病床を整備するなど、氷見市民のコロナ感染症対策は整えておりますが、感染者の入院はまだありません。

病院の診療におきましては、コロナ流行の影響を受け、外来患者数は、昨年4月から8月にかけて10～15%減少しました。特に小児科と耳鼻い

んこう科における外来患者の減少が大きかったと思います。しかし、9月に入ってから外来患者数は徐々に回復して参りました。また、入院診療におきましては、手術件数も昨年と変わらず、コロナ流行の影響は最小限に抑えられたものと思います。

コロナ流行下では、全ての医療現場において、医療従事者は神経を使い、大きなストレスを抱えています。特に発熱外来や救急外来においては、いつ感染者と接触するかわからない状況の中で、常に緊張状態が続いております。

今年も、ワクチン開発の進展とともに、新型コロナウイルス感染症が収束し、病院の診療が平常に戻ることを願ってやみません。



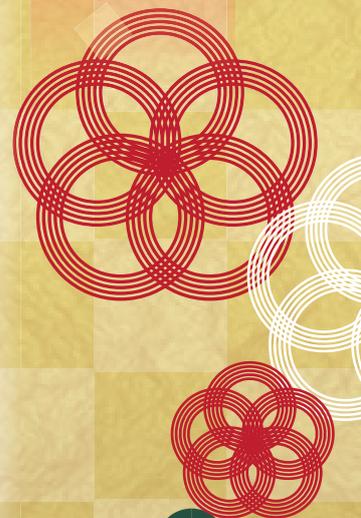
病院長

梅 博久

**明** けましておめでとうござい  
ます。

新型コロナウイルスに翻弄された令和2年が終わわり、令和3年を迎えることができました。

金沢医科大学氷見市民病院では年初から新型コロナウイルス対策に力を注ぎ、2月にはいち早く帰国者・接触者(発熱)外来を別室で開設し、一般の患者さんと動線が交わらないようにしました。PCR/抗原検査は、明らかな接触者4例と、通常の疑い患者3例が陽性でしたが、準備した専用ベッドへの入院はまだありません。今後とも気を緩めることなく、市民と職員を守るために万全の対応を続けたいと思っております。



人口減少を想定していなかった

地方中核病院は、医療ニーズの変化(通常の急性疾患の減少)への対応に迫られているように思われます。

病院が対応すべき疾患や問題も新たな視点から探し出す必要があります。

例えば、多くの疾患はリスク因子が分かっており、発症に至る前にそのリスクを解消するよ

うな診療があってもいいように思います。また、疾病は治療が奏功す

れば直ちに通常の生活に戻れるというわけではなく、復帰できるまで

にある程度時間がかかります。優れたリハビリテーションはこのよう

な復帰にかかる時間を短縮し患者さんの苦労を小さくすることがで

きます。

今年も、市民の皆様「具合が悪い時にはまず氷見市民病院に行ってみよう」と思っていただけの病院

になるように、努力を続けたいと思っております。

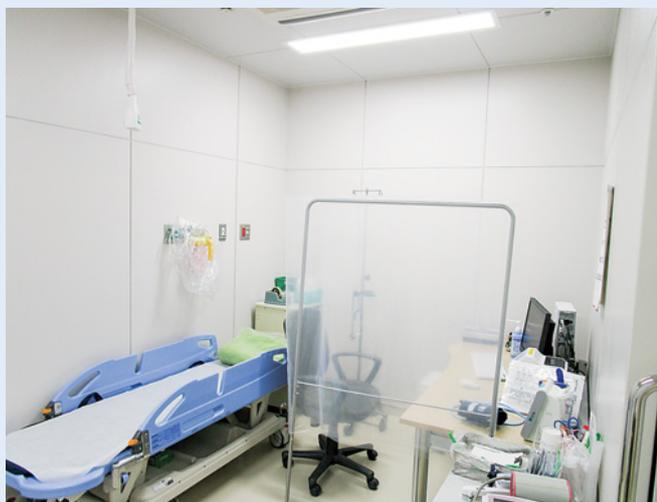


# 救急外来における感染対策 ～感染診察室の改修・運用開始について～

当院において、新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてこれまで様々な取り組みを行ってきましたが、その一環として11月まで救急外来の感染診察室の改修工事を行ないました。これにより、感染診察室と院内廊下が直通され、専用入口から院内廊下へ一般患者と接触することなく移動でき、感染リスクの軽減に成功しています。

また、インフルエンザとの同時流行による患者数増加に備え、待合エリア及び簡易診察室としてプレハブを2棟設置いたしました。プレハブにはそれぞれドアホンを設置し、常時観察できる体制となっています。さらに、空気清浄のためにクリーンパーテーションをプレハブ内に設置するとともに、簡易診察室には飛沫感染防止

のためアクリル板を設置するなど、感染拡大防止に努めています。今後も引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組んでまいりますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。



感染診察室の様子



プレハブ全景(待合および簡易診察室)



プレハブ内の簡易診察室

# 黒木先生の 診察室から

循環器内科 医員

## 黒木 健伍

KUROKI KENGO

### 金

沢医科大学氷見市民病院循環器内科の黒木健伍です。

私は、2017年に金沢医科大学を卒業後、ここ金沢医科大学氷見市民病院で医師としての第一歩を切らせて頂き



ました。医師としてスタートした社会生活は、野球部として過ごした学生時代とは180度異なり、初めての事ばかりで、金沢医科大学氷見市民病院での最初の一年間はとても刺激的で強く

記憶に残っています。勤務が始まって一カ月程経った頃、院内で容態が急変し心肺蘇生が必要な症例が出ました。もちろん私もその場に立ち会っわけですが、そのときの現場の慌ただしい雰囲気や緊張感に完全に飲み込まれたことを今でも鮮明に覚えています。

また、研修医時代に当科の診療科長である福田昭宏教授と出会いました。一年間同じ病院で過ごす中で、「威圧的」「怖そう」「厳しい人」など初見の印象とは裏腹に、「なん

と義理堅く筋を通す人間か」と感服致しました(もちろん全て心の中で思っただけで口に出したことはありません。口に出すと絶対に怒られます。)

二年目は金沢医科大学病院へ異動となりましたが、将来のボスはこの人だと心に決めておりました。三年目を迎えるにあたり、福田教授に、当院の循環器内科への入局を志願し、受け入れて頂くことができました。

日々の診療業務では、循環器内科の外来診療や病棟業務、発熱外来の診療等を行っており、目の前の仕事には全打席フルスイングで挑んでおります。まだまだ三振の多い毎日ですが、皆さまよろしく願いいたします。

### 黒木 健伍 ★ 略歴

#### 【学歴・職歴】

- ◎2017年3月 金沢医科大学医学部 卒業
- ◎2017年4月 金沢医科大学氷見市民病院 初期臨床研修医
- ◎2018年4月 金沢医科大学病院 初期臨床研修医
- ◎2019年4月 金沢医科大学氷見市民病院 循環器内科 入局



# 診療コラム

## 新型コロナウイルス感染症の検査について

## 中央臨床検査部

「当院の中央臨床検査部には20名の臨床検査技師が勤務しており、24時間体制で各種の臨床検査を実施しています。緊急検査に対応できる幅広い検査技術や、専門分野に関する技術と知識を兼ね備えています。」

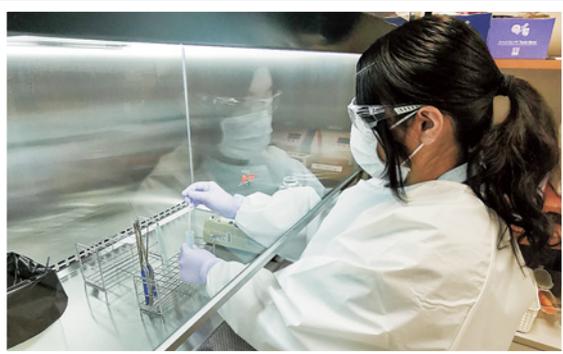
対応する検査のなかには様々な感染症を判定する検査も行っていますが、今皆さんにとって一番関心があり、心配と思われるのは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）ではないでしょうか。再び全国的にも増加しており、富山県でも増加の傾向がみられます。今回は、当院の新型コロナウイルス感染症の検査についてご紹介していきます。発熱している患者さんを診断す

るには、まず、新型コロナウイルス感染症なのか、インフルエンザなど他の感染症なのかを鑑別しなければなりません。

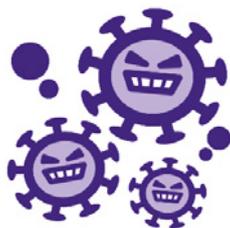
新型コロナウイルスの感染の有無を確認するPCR検査はご存知と思いますが、PCR検査は「核酸合成酵素連鎖反応」の略称で、ウイルスの遺伝子の有無を調べます。PCR検査は、24時間いつでも行なうことが難しいため、当院では抗原検査を実施しています。

抗原検査はウイルスのたんぱく質を調べる方法で、当院は簡易キットではなく分析装置で測定しています。PCR検査と比べると、よく耳にする検査ではありませんが、空港の検疫検査でも使用されており、検体を提出して頂いてから30分ほどで結果を出すことがで

きます。併せて、インフルエンザの迅速検査も行い、症状では判断できない感染症を短時間で診断することができます。



感染性検体を扱う時は安全キャビネット内で行い、測定前の準備をします。



試料の準備ができれば分析装置にかけ、約30分で結果がでます。

# ストレスに負けない過ごし方！

# リハビリテーション部

新型コロナウイルスの影響で思うように外出ができない状況ですが、こんな時だからこそストレスに負けない過ごし方をご紹介します。

## 1. なんととっても笑顔、笑が一番！

朝は鏡に向かって口を大きく動かして、挨拶や発声練習、笑いの体操を試みましょう。

- ①にこやかに「おはようございます！」
- ②思いっきり大きめに「あー！」「いー！」「うー！」「えー！」「おー！」「ヒッ、ヒッ、ヒッ！」



## 2. 「ながら」で生活体力向上！

日常的に行っている毎日の様々な活動が大事です！何かの待ち時間を活用してみましょう。

- ①歯磨きや食器洗いの時には、つま先立ち
- ②テレビを見ながら、膝伸ばしや足首体操
- ③コマーシャルになったら、立ち上がってバンザイや足ふみ運動



## 3. 何かに没頭する時間をもつ！

没頭できる作業や活動はありますか？この機会に新しいことや今まで時間がなくてできなかった事を始めてみることをおすすめします。

- ①音楽を聴く、テレビを観る、花や緑を鑑賞する
- ②手作業をする：料理、手工芸、掃除、整理整頓、洗濯、庭や畑仕事
- ③頭を使う：新聞を読む、読書、脳トレ
- ④コミュニケーション：電話、SNS、手紙（はがき）を書く



## 脳トレ やってみよう！

「富山」といえば？

思いつくことを10個挙げてみましょう。



## 令和2年度認知症研修会

日時：令和2年11月9日(月)  
17時30分～19時

当院6階多目的ホールにおいて、職員を対象とした認知症研修会を開催しました。

今回は、金沢医科大学



学病院から、神経科精神科の新田祐輔医師、精神看護専門看護師の中井有里看護師を講師に招き、「多職種で取り組むせん妄対応」をテーマに講演を行い、職員51名が参加しました。

当院は高齢者の入院が多いことから、入院中に認知症やせん妄を発症するリスクが高く、その対応に苦慮する場面が多くみられます。そのような背景から、平成29年4月に専門医師や老人専門看護師を中心とするメンバーから成る「リエゾンチーム」を発足し、認知症やせん妄の患者さんに対して多職種によるラウンドを行っています。

研修会に参加した職員からは、「せん妄の早期介入が重要だと分かった」「内服について理解を深めることができた」など、多くの感想が寄せられました。

今回の研修で学んだ知識を活用し、多職種がチームとなって患者さんへ適切なケアを提供できるよう努めてまいります。

## 病院からのお知らせ掲示板

## ● 新型コロナウイルス対策の体制強化について

令和2年12月23日(水)から、新型コロナウイルス感染症対策強化のため次のとおりとしております。  
ご理解とご協力をお願いします。

## ● 時間外入口の終日閉鎖

時間外入口を終日閉鎖しています。  
救急外来の受診や当院に用務がある方は、入口左側のインフォメーションを押して用件を伝えてください。

## ● 正面入口の開門時間

平日…午前7時45分～午後5時  
土曜…午前7時45分～午後0時30分  
日祝…終日閉鎖

## ● 来院者の制限について

患者さんの外来受診、書類関係等の手続きの場合を除き、不急の来院はお断りしています。

## ● 入院患者さんへの面会禁止

面会規制を「原則禁止」↓「禁止」へ引き上げしました。  
必要最小限の来院にご協力をお願いします。

## ● 「きときと健康チャンネル」放送のお知らせ

能越ケーブルネット放送の氷見市広報番組「もっと知りたい・伝えたい氷見市政」の中で、「きときと健康チャンネル」と題した当院のコーナーを毎月放送しています。

毎回、病気や健康に関する身近な話題をテーマに、当院の医師や医療スタッフが出演し、市民の皆様の健康に役立つ情報をお届けします。ぜひご覧ください。

## 12月 放送予定

テーマ 「臨床検査技師のお仕事とは？」

～検査部・病理部の紹介、  
検査や採血のギモンQ&A～

出演 中央臨床検査部  
放映 令和3年2月7日(日)～  
2月13日(土)

1日3回(6時～、15時～、20時～)

## 【番組概要】

能越ケーブルネット放送「ひみチャンネル」

氷見市広報番組「もっと知りたい・伝えたい 氷見市政」

番組内10分コーナー

※毎月第1週(日)～(土)

1日3回放映



## 病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

## 患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

## 患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

## まちかど情報

### 病院2階レストラン「ビアン・モール」 手作りの焼きたてパンを販売しています!

はじめまして!

金沢医科大学氷見市民病院2階レストラン「ビアン・モール」です。当店では、レストランのお食事の他に、パンやお菓子などを販売しています。当店の自慢は、手作りの焼きたてパンです。毎朝、手作りで焼きたてのパンを提供しており、患者さんや市民の皆さんに大変好評いただいております。当店のパンで一番のおすすめ商品は、メロンパンです。

金沢医科大学氷見市民病院へ来院の際は、ぜひ一度当店にお立ち寄りください。心よりお待ちしております。



### 営業時間

○平日 8:00~17:00    ○土日・祝 休業日

## 表紙について

立山(雄山)の頂上から撮影した写真です。

紅葉一色の中、立山では雪化粧に変わっていました。立山は、日本の宝ですね。新型コロナウイルスの感染拡大により大変な状況ですが、こんな時こそ、みんなが『笑顔』になるようにしていきたいですね。

撮影：胸部心臓血管外科 町田 雄一郎

## 編集後記

激震の年が終わり、令和の時代が早くも3年目となりました。世の中何が起るかわからないとはいえ、今回のコロナ禍のように世の中が一変してしまうような事が起こるとは想像し難いものです。しかしながら、「人間万事塞翁が馬」です。これは、中国の故事で「人生の禍福は最後まで予測できない」という話です。常に物事には二面性があるということを説いています。昨年は、辛いことが多かったですが、衰退あれば新たな芽吹もある事と思います。「ピンチはチャンス」、「禍を転じて福と為す」、このコロナ禍が収束した暁にはより良い未来が待っている事を祈念いたします。

かけし冬号編集委員 医事課 松岡 励

### ■広報誌「かけし氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけし」となることを願って命名されました。